

美の基準

美の原則		手がかり	つ な が り	美 の 基 準
				キ ー ワ ー ド
1. 場所	* 建築は場所を尊重し、風景を支配しないようにしなければならない。	(場所の尊重) 地勢 輪郭 地味 雰囲気	<p>私たちは</p> <p>場所</p> <p>を尊重することにより、その</p> <p>歴史、文化、風土を町や建築の各部に</p> <p>格づけ</p> <p>し、それらの各部の</p> <p>尺度</p> <p>のつながりを持って</p> <p>青い海、輝く森と言った自然、</p> <p>美しい建物の部分、の共演による</p> <p>調和</p> <p>の創造を図る。</p> <p>それらは</p> <p>真鶴町の大地、生活が生み出す</p> <p>材料</p> <p>に育まれ</p> <p>装飾と芸術</p> <p>という、</p> <p>人々に深い慈愛や楽しみをもたらす</p> <p>真鶴町独自の質に支えられ、</p> <p>町共通の誇りとして</p> <p>コミュニティ</p> <p>を守り育てるための</p> <p>権利、義務、自由を生きづかせる。</p> <p>これらの全体は真鶴町の人々、</p> <p>町並、自然の美しい</p> <p>眺め</p> <p>に抱擁されるであろう。</p>	<p>聖なる所 斜面地</p> <p>豊かな植生 敷地の修復</p> <p>眺める場所</p> <p>生きている屋外</p> <p>静かな背戸 海と触れる場所</p>
2. 格づけ	* 建築は私たちの場所の記憶を再現し、私たちの町を表現するものである。	(格づけの すすめ) 歴史 文化 風土 領域		<p>海の仕事山の仕事</p> <p>転換場所</p> <p>見通し 建物の縁</p> <p>大きな門口</p> <p>壁の感触 母屋</p> <p>柱の雰囲気</p> <p>門・玄関</p> <p>柱と窓の大きさ</p>
3. 尺度	* すべてのものの基準は人間である。建築はまず、人間の大きさと調和した比率をもち、次に周囲の建物を尊重しなければならない。	(尺度の考慮) 手のひら 人間 木 森 丘 海		<p>斜面に沿う形 部材の接点</p> <p>見つけの高さ 終わりの所</p> <p>窓の組み子</p> <p>跡地とのつながり</p> <p>段階的な外部の大きさ</p> <p>重なる細部</p>
4. 調和	* 建築は青い海と輝く緑の自然に調和し、かつ町全体と調和しなければならない。	(調和して いること) 自然 生態 建物各部 建物どうし		<p>舞い降りる屋根 日の恵</p> <p>木々の印象 覆う緑</p> <p>守りの屋根 北側 地場植物</p> <p>大きなバルコニー 実のなる木</p> <p>ふさわしい色 少し見える庭</p> <p>青空階段 格子柵の植物</p> <p>ほどよい駐車場</p> <p>歩行路の生態</p>
5. 材料	* 建築は町の材料を生かして作らなければならない。	(材料の選択) 地場産 自然 非工業生産品		<p>自然な材料 地の生む材料</p> <p>活かしている材料</p>
6. 装飾と芸術	* 建築には装飾が必要であり、私たちは町に独自の装飾を作り出す。芸術は人の心を豊かにする。建築は芸術と一体化しなければならない。	(豊かな細部) 真鶴独自の装飾 芸術		<p>装飾</p> <p>森、海、大地、生活の印象</p> <p>軒先、軒裏 屋根飾り</p> <p>ほぼ中心の焦点 歩く目標</p>
7. コミュニティ	* 建築は人々のコミュニティを守り育てるためにある。人々は建築に参加するべきであり、コミュニティを守り育てる権利と義務を有する。	(コミュニティの保全) 生活共域 生活環境 生涯学習		<p>世帯の混合 ふだんの緑</p> <p>人の気配 店先学校</p> <p>街路を見下ろすテラス</p> <p>さわれる花 お年寄り</p> <p>外廊 小さな人だまり</p> <p>子供の家 街路に向かう窓</p> <p>座れる階段</p>
8. 眺め	* 建築は人々の眺めの中にある。美しい眺めを育てるためにあらゆる努力をしなければならない。	(眺めの創造) 真鶴町の眺め 人々が生きづく 眺め		<p>まつり 夜光虫 できごと</p> <p>眺め 賑わい いびき</p> <p>懐かしい町並</p>